

令和5年度 音楽科シラバス

「音楽Ⅰ」	単位数	2単位	校長	教頭	教頭
	学科・学年・学級	1年生 音楽選択者			

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	Tutti +

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画と評価

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	オリエンテーション	1年間の流れと学習評価について理解する。
	5	【歌唱 校歌（楽典）】 【ボディパーカッション】	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージを持って歌う。
		【器楽（三線）】 安波節、安里屋ユンタ	三線の基本的な奏法を身に付けるとともに、音楽表現に必要な技術を身につける。
	7	【鑑賞】 組踊り【執心鐘入】	声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取る。
2 学期	9	【歌唱（合唱）】 少年時代 他	歌詞の内容と楽曲の背景のかかわりを理解し、表現を工夫する。
	10	【器楽・キーボード】 星に願いを	キーボードの奏法を習得し、表現を工夫して演奏する。
	11	【器楽・合奏】 クリスマスキャロル	ハンドベルの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する。
	12	【鑑賞】 カルメン	音楽の要素とイメージをつなげ、楽曲に対して自分なりの価値観を持つことができる。
3 学期	1	【歌唱】	卒業生への感謝の思いを歌で表現する。
	2	卒業の歌	
	3	【創作】 編曲にチャレンジしよう	「メリーさんのひつじ」を形作っている要素の働きを変化させて、イメージをもって変奏曲を作る。

(2) 評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
【観点1】 知識・技能	思いや意図をもって音楽を表現するために、必要な知識や技術を身につけている。	実技テスト・ワークシート・行動観察
【観点2】 思考・判断・表現	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、思いや意図を持って表現することができる。	実技テスト・ワークシート・行動観察
【観点3】 主体的に学習に取り組む態度	学習内容や指導のねらいに対して関心や意欲をもって主体的に取り組もうとしている。	ワークシート・行動観察 提出物

令和5年度 音楽科シラバス

「音楽Ⅱ」	単位数	2 単位	校長	教頭	教頭
	学科・学年・学級	3 年生 音楽選択者			

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	Tutti II

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画と評価

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	オリエンテーション	1 年間の流れと学習評価について理解する。
	5	【歌唱 校歌（楽典）】 【ボディパーカッション】	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージを持って歌う。
		【器楽（三線）】 ていんさぐぬ花、涙そうそう 他	三線の基本的な奏法を身に付けるとともに、音楽表現に必要な技術を身につける。
	7	【鑑賞】 ミュージカル《キャッツ》	声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取る。
2 学期	9	【器楽・キーボード】 任意の曲	キーボードの奏法を習得し、表現を工夫して演奏する。
	10	【器楽・ハンドベル】 星に願いを 他	ハンドベルの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する。
	11	【歌唱（合唱）】 Stand by me 他	歌詞の内容と楽曲の背景のかかわりを理解し、表現を工夫する。
	12	【鑑賞】 オペラ《椿姫》	音楽の要素とイメージをつなげ、楽曲に対して自分なりの価値観を持つことができる。
3 学期	1 2	【歌唱】 卒業の歌	卒業生への感謝の思いを歌で表現する。
	3	【創作】 編曲にチャレンジしよう	「メリーさんのひつじ」を形作っている要素の働きを変化させて、イメージをもって変奏曲を作る。

(2) 評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
【観点 1】 音楽への関心・意欲・態度	学習内容や指導のねらいに対して関心や意欲をもって取り組もうとしている。	ワークシート・授業態度・提出物
【観点 2】 音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、思いや意図を持って創造的に表現することができる。	実技テスト・ワークシート・行動観察
【観点 3】 音楽表現の技能	思いや意図をもって音楽を表現するために、必要な技能を身に付けている。	実技テスト・ワークシート・行動観察
【観点 4】 鑑賞の能力	楽曲や演奏のよさや美しさを味わって聴き、批評活動を通して主体的に鑑賞する。	ワークシート

令和5年度 音楽科シラバス

「郷土の音楽」	単位数	2単位	校長	教頭	教頭
	学科・学年・学級	2, 3年生 音楽選択者			

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 郷土の音楽を愛好する心情を育み、伝統文化への理解を深める。 2. 沖縄の音楽の種類と特徴を理解する。
使用教科書・副教材等	「Basic of 沖縄三線」 他

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画と評価

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	オリエンテーション	1年間の流れと学習評価について理解する。
	5 6 7	【歌唱】 沖縄POPs、沖縄民謡	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージを持って歌う。
		【器楽（三線）】 ていんさぐぬ花、安里屋ユンタ 他	三線の基本的な奏法を身に付けるとともに、音楽表現に必要な技術を身につける。
		【鑑賞】 沖縄音楽の歴史と鑑賞	沖縄の音楽に親しむとともに、その特徴を理解する。
2 学期	9	【器楽（三線）】 三線発表会	音楽表現を主体的に工夫して発表する。
	10	【鑑賞】 組踊、琉球舞踊 他	沖縄の音楽の文化的・歴史的背景を学習し、その特徴と種類について理解する。
	11	【歌唱（合唱）】 「未来へ」 kiroro	各声部の役割やバランスを理解し、合唱を楽しむ。
	12	【器楽（合奏）】 海の声	楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏することができる。
3 学期	1	【歌唱】	卒業生への感謝の思いを歌で表現する。
	2	卒業の歌	
	3	【創作】 沖縄音階を用いて音楽作りにチャレンジしよう	沖縄音階を用いて、イメージをもって音楽を作る。

(2) 評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
【観点1】 音楽への関心・意欲・態度	学習内容や指導のねらいに対して関心や意欲をもって取り組もうとしている。	ワークシート・授業態度・提出物
【観点2】 音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、思いや意図を持って創造的に表現することができる。	実技テスト・ワークシート・行動観察
【観点3】 音楽表現の技能	思いや意図をもって音楽を表現するために、必要な技能を身に付けている。	実技テスト・ワークシート・行動観察
【観点4】 鑑賞の能力	楽曲や演奏のよさや美しさを味わって聴き、批評活動を通して主体的に鑑賞する。	ワークシート

令和5年度 美術科シラバス

美術科

「美術Ⅰ」	単位数	2 単位	校長	教頭	教頭
	学科・学年・学級	1 年生・3 年生 美術選択者			

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
使用教科書・副教材等	高校生の美術Ⅰ

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画と評価

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	オリエンテーション	1 年間の流れと学習評価について理解する。
	5	【絵画・彫刻】 身近なものを描く	身近なものの造形的な特徴や面白さ、美しさなどを見つめ、感じ取ったことなどを基に、形や色彩、質感、構成などについて考える。
	6	【鑑賞】 柵や点で描く	柵や点で構成された作品の造形的なよさや美しさを感じ取るとともに、日本美術と西洋美術とを比較し、それぞれの創造的な表現の工夫などについて考える。
	7	【鑑賞】 葛飾北斎	浮世絵版画や絵手本、肉筆画の造形的なよさや美しさを、比較しながら感じ取るとともに、北斎の生涯や、創造的な表現の工夫などについて考え、日本の美術文化について見方や感じ方を深める。
2 学期	9	【絵画・彫刻】 風景を描く	心ひかれる風景を見つめ感じ取ったことや、その風景に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考える。
	10	【絵画・彫刻】 想像した世界を描く	夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などについて考える。
	11	【絵画・彫刻】 自己をあらわす	自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、映像メディアの特性を生かすとともに、色光や構図などの写真表現の視覚的な要素の働きについて考える。
	12	【絵画・彫刻】 マークやサインで伝える	伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考える。
3 学期	1	【絵画・彫刻】 空間をデザインする	教室のデザインの目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、快適な生活にデザインが果たす役割などについて考える。
	2	【絵画・彫刻】 表現彫刻	心の中の感情やイメージを形にしたり、自然物や人工物の形を抽象化したりして抽象彫刻に関心を持たせ、理解を深める。
	3	【絵画・彫刻】 テーマを決めて撮影する	シリーズであらわすことの意味を考え、被写体を見つめて感じ取ったことや考えたことをもとに映像メディアの特性を生かして主題を生成し、視点や構図、光などの視覚的な要素の働きについて考える。

(2) 評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
【観点 1】 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	テスト・ワークシート・行動観察
【観点 2】 思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	テスト・ワークシート・行動観察
【観点 3】 主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート・行動観察 提出物